

2020年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 地域科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1 本設問は、地域社会学分野から2問、社会生態学分野から2問、人文地理学分野から2問を出題しており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2 本設問は、社会生態学、地域社会学、人文地理学、地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. 「文化的景観」の概念について説明し、それが注目を集めた理由や観光地化に与えた影響について、具体的な事例を挙げながら論じよ。
2. 湿地保全の重要性について、生物多様性と生態系サービスの観点から説明せよ。
3. 生態系管理において、栄養カスケード (trophic cascade) のトップダウン効果にどのような配慮をすべきか、在来種管理と外来種管理の双方の事例を挙げて論を展開せよ。
4. 地域の環境保全をどう進めていくかを社会科学の立場から考えるとき、そこに暮らす人びとの「土地への愛着 (land attachment)」が重要になってくることがある。どのような意味でそれが重要になってくるのかを論じた上で、「愛着」といった目に見えないものを、どんなことに留意しながら、どのような方法で明らかにするのがよいのか、考えるところを論述せよ。
5. 地域コミュニティの維持や再生は、今日世界中で問題になっている。この問題を社会学的に調査研究しようとするとき、どんなテーマを設定し、どんな方法論で研究すればよいか、考えるところを論述せよ。
6. 地理空間情報および GIS を用いた防災研究を行う場合、都市部と農村部における分析方法の違いや、分析で注意すべき点の違いについて述べよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|---|---------------------------|
| 1. 50/500 則 | 9. 厚い記述 (Clifford Geertz) |
| 2. SLOSS 問題 | 10. 耕作放棄地 |
| 3. Web メルカトル | 11. 参与観察 |
| 4. アクションリサーチ | 12. 集乳圏 |
| 5. アジェンダ 21 | 13. 熟議民主主義 |
| 6. バトラー (Richard W. Butler) の観光地発
展段階論 | 14. 生物多様性の第2の危機 |
| 7. 橋頭堡効果 (bridgehead effect) | 15. 臨空工業地域 |
| 8. 限界集落 | |